

秋田県生産性向上支援センター開所式



令和8年4月1日、秋田県庁第二庁舎2階にて秋田県よろず支援拠点内に設置された「秋田県生産性向上支援センター」の開所式を行った。

同センターでは、知識・経験が豊富なサポーターが中小企業等の現場を複数回訪問し、5S、工程改善、省力化、デジタル化等を通じて生産性向上のための伴走支援を行う。

あきた企業活性化センターの佐藤徹理事長は「今、県内企業は人手不足や労働供給の課題に直面しており、解決には生産性の向上が不可欠です。生産性向上支援センターは現場訪問型の支援を特徴とし、専門家が企業の現場を実際に訪問して徹底的にサポートいたします。さらに、よろず支援拠点と密接に連携し、県内企業に対して隙間のない伸展性を構築していきたい。」と挨拶。

その後、鈴木知事と佐藤理事長によって同センターの看板の設置が行われ、4名のサポーターを紹介した。



すずき けんた
秋田県知事 **鈴木 健太** 氏

平日頃は看板を掛けることがゴールではないということを申し上げております。「生産性向上支援センター」という看板の下に、中小企業をはじめとする企業の皆様が、実際に支援を受けて生産性を向上することで、ひいては業績が改善し、質上げまでに至ることがゴールであります。県としましても、本県の県内総生産や県民所得の向上にもつなげられるよう、センターと緊密に連携し、企業支援の裾野を広げるとともに、手厚いサポートに努めてまいりたいと考えております。



秋田県生産性向上支援センター
統括サポーター **林 隆司** 氏

このセンターは、先ほど鈴木知事からお言葉をいただいたとおり、設立がゴールではありません。人口減少や賃金向上の課題といった多くの県内企業が抱える経営課題を、生産性を上げ解決することをミッションとしています。現時点でサポーターは私を含め4名ですが、今後メンバーを拡充し、有意義な活動をして、秋田県の成長に資する活動結果になればと思っております。

ぜひご活用ください!

生産性向上支援センターは、よろず支援拠点の一部門であり、拠点内の組織である強みを活かし、事業者の課題をワンチームで解決いたします。

こんな
お悩みは
ありませんか?



残業が減らず、
人が定着しない…



本当は
見直したいが、
手作業が当たり前
になっている…



忙しさに追われ、
改善に手を
付けられない…

ポイント
01

生産性向上の
「プロ」が支援

生産性向上に関する知識・経験豊富な「プロ」が「今の現場に合った」次の一歩を一緒に考えます。

ポイント
02

無料・複数回の
現場訪問

「相談にいく時間がない」、そんな場合でもご安心ください。サポーターが無料で、現場へ伺います。

ポイント
03

補助金活用にも
メリット

センターの支援を受けることで、省力化投資補助金(一般型)の採択審査において加点が受けられます。(予定)

よろず支援拠点

ワンストップ相談窓口

- ・幅広い経営相談
(売上・利益拡大・資金繰り・経営改善等)
- ・経営全体の見立てと他機関への橋渡し

生産性向上支援センター

- ・生産性向上に特化した専門チーム
- ・現場訪問型の伴走支援
- ・工程改善・省力化・デジタル化等

互いに緊密に連携